

フルーツタルトの専門店
のキルフェボン（静岡
市）が約13年ぶりに名古屋
に再出店する。28日に
名古屋市の繁華街・栄に
開業する。再出店の背景
には2024年に投資フ
アンドの傘下に入ったこ
とがある。経営戦略は刷
新され、カフェ激戦区の
「名古屋へもう一度」と
いう判断を下した。

栄の複合施設「ナディア
パーク」のそばに「キ
ルフェボン名古屋栄」が
開店する。キルフェボン
は季節のフルーツをふん
だんに使ったタルトが魅
力だ。東京や大阪など全
国各地に出店しており、
栄店の開業で12店舗目と
なる。名古屋限定の商品
も用意する予定で、愛知
だけではなく岐阜、三重
などからの流入も見込
む。

名古屋に13年ぶり再出店



キルフェボン名古屋栄
の内観イメージ

用意する。オープン記念
商品では、愛知県のイチ
ジク農園で栽培されたイ
チジクのタルトを提供す
る。店内飲食では1ピー
スで2486円。
名古屋の再出店に対
し、ファンの反響は大き
い。プレオープンの際の
応募数は想像以上だった
（同社）という。
以前の店は松坂屋名古屋
店（名古屋市中）の中
にあったが、2012年1
月に撤退した。中部から
近い店舗は静岡や京都の
店舗となり、浜松店には

ファンド傘下 積極投資にカジ

愛知県から足を運ぶ客も
いた。キルフェボンの石
川智哉社長は「利用者が
多く名古屋は出店の優先
度が高かった。名古屋を
重要な商圏と捉えてい
た」と話す。

キルフェボンが名古屋
に再出店したのは、経営
判断によるところが大き
い。日本の中堅企業に投
資するファンド「サンラ
イズキャピタル」が24年
1月にキルフェボン株を
100%取得した。同フ
アンドが出資していたつ
ながりで不動産事業に精
通する石川氏を社長に招
き、再出発した。

今後の展望についてキ
ルフェボンは「東海地方
での新規出店も考えてい
きたい。電子商取引（E
ベイクレント・コンサル
ティング（現ベイクレン
ト）やアパレルのパロッ
クジャパンリミテッドな
どへの投資実績を持つ。
飲食店フランチャイズ企
業などにも投資してお
り、運営ノウハウをキル
フェボンにも生かしてき
た。色を打ち出せるかが誘客
の力になる。」
（竜田菜美子）